

財團法人協調會大阪支所  
報告書  
昭和二十一年三月  
第一號  
一、調査の目的  
二、調査の經過  
三、調査の結果  
四、結論  
五、附録

財團法人協調會大阪支所

ガアリ保護人民委員會ナドガアツテ實際住ミ安イ國デアル、五十才以上ノモノハ勞働セズシテヤスンデ生活出來ルシ十八才以下ノモノハ安ジテ勉強スルコトガ出來ル、我々ハコンナ熱心ナ國ヲ建設シタイ、諸君ハコンナ國ヲ建設スル様ニ努力セナケレバナラナイ。

◎吉田寛治（向上會）

工廠ノ中デ負傷スレバ上ノ人ハ本人ノ不注意デ負傷シタト云フガコレハ間違ツテヲル、我々ハ作業ノ能率ヲ高メントシテ負傷スルモノダ、機械ノ不完全ノ爲ニ負傷スルモノダ、春秋ノ筆方デ云ヘバ我々ノ負傷ノ責任者ハ陸軍當局デアル、陸軍當局ハ負傷者ヲ精神的ニ慰籍セナケレバナラナイ。  
時ニ午後十時四十分